

平成 27 年度のコンプライアンス推進に係る取り組み状況について（報告）

1 役職者に対する研修

(1) トップセミナー

① 実施概要

職員それぞれにコンプライアンス意識を浸透させていくためには、トップの意識が重要であることから、幹部職員向けにセミナーを実施した。

② 実施日

平成 27 年 7 月 27 日（月）

③ 参加者

29 名（市長、副市長、事業管理者、局区長）

④ 講師・講演概要

里村 正治氏（フィデアホールディングス株式会社 代表執行役社長）

・仙台市のコンプライアンスの定義や、その根底にある考え方について

・コンプライアンス意識を職員に浸透させていくために、管理者が持つべき心構えについて

など

(2) 局区統括コンプライアンス推進員研修

① 実施概要

風通しの良い職場づくりのための取り組みの企画・実行、推進員への指導・助言等の役割を果たしていくために必要な、管理者として持つべき意識や部下への指導方法等を学んだ。

② 実施日

平成 27 年 9 月 24 日（木）

③ 参加者

31 名

④ 講師・講演概要

森口 敬司氏（株式会社ビーコンラーニングサービス 執行役員）

・コンプライアンス定着に向けた経営管理者の必要課題

・コンプライアンス・経営倫理 推進リーダーの役割例 など

(3) コンプライアンス推進員研修

① 実施概要

所属職員に対するコンプライアンス意識の啓発、指導監督等の役割を果たしていくために必要な、管理職として持つべき意識や風通しの良い職場づくりを進めるための手法等を学んだ。

② 日時

平成 27 年 10 月 28 日（水） ※午前午後の 2 回に分けて実施

③ 参加者

351 名

④ 講師・講演概要

長尾 寿昭氏（株式会社ビーコンラーニングサービス 執行役員）

・コンプライアンス定着に向けた経営管理者の必要課題

・コンプライアンス実践における経営管理者の役割 など

2 各局区における取り組みの状況

平成28年4月28日に局区統括コンプライアンス推進員による連絡会を開催し、平成27年度の各局区における取り組み状況について、情報共有を行った。

(主な取組実績及び感想等)

○局区長等によるオフサイトミーティングの実施

- ⇒ 自己紹介やプライベートの話もあり、盛り上がった。決裁の際に気軽に会話するようになるなど、効果が感じられた。〔子供未来局〕
- ⇒ 若手職員にとって、幹部からの激励が刺激となり、モチベーション向上につながっていると感じている。〔宮城野区〕

○各課の朝礼への参加、職場訪問の実施

- ⇒ 環境事業所訪問時に、朝礼前のラジオ体操から局次長が参加し、一体感を感じるとともに職場の雰囲気に触れることができた。〔環境局〕
- ⇒ 各所属の取り組みに温度差があると感じた。今年度も引き続き実施してもらおうが、温度差が小さくなるように改善したい。〔財政局〕

○局内課長会等における情報共有

- ⇒ 他都市で発生した不祥事等の事例についての情報共有を行った。各課内での継続した取り組み方法や話題等に悩む所属長が見られ、所属長自身の取り組みを支援するツールについても考える必要があると感じている。〔市民局〕

○外部講師を招いてのコンプライアンス研修の実施

- ⇒ 接遇研修の一つとして実施。窓口を抱えた部署の職員が執務時間中にまとまった研修を行うことが難しい状況である。できるだけ多くの職員が参加できるように実施していきたい。〔太白区〕

○「事務処理ミス事例集」の作成・配布

- ⇒ どの職場でも起こり得る典型的な事務ミスの事例を取り上げ、その原因や再発防止策を掲載した冊子を取りまとめ、各所属で参考にしてもらっている。〔太白区〕

3 各所属における取り組みの状況

各所属における「仙台市コンプライアンス行動規範集」の活用状況等について、所属長を対象にアンケート調査を行った。

調査対象：コンプライアンス推進員 398名

回答数：366名（回答率 92.0%）

調査結果：【資料2-2】を参照

(調査結果の概要)

- ・ 8割以上の所属で、月に1回以上は行動規範集を活用していた。
- ・ 不祥事事例等の具体的な事例を用いた意見交換などの取り組みが効果的だったと考える所属長が多い。
- ・ 活用方法がマンネリ化してきていると感じている所属長が多い。